



## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-3-2			事業名	民間建築物吹付けアスベスト対策事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
アスベスト含有調査件数(累計)	-	-	1件	8件	18件	30件	
アスベスト除去等工事件数(累計)	-	-	0件	4件	12件	24件	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働  [資金協力] (該当なし)  [人材協力] (該当なし)  [情報協力] 建設業等団体に事業案内パンフレットを配布し営業活動に活用してもらうことで広く市民に対し普及啓発の期待ができる。  [その他の協力]  市民・企業等が参加しやすい環境づくり  (該当なし)</p>							
<b>評価(成果)</b>			<b>課題</b>				
建物所有者のアスベストに対する認識不足や、補助要綱の施行(19年8月)から国に対する20年度予算要望の締切り(19年9月)まで期間が短く、建物所有者への周知期間が十分に取れなかったことなどから、申請予定数が計画に達しなかった。 20年度についても継続して、事業の周知啓発を図り、21年度に向けた事前相談を行った結果、分析調査7件、除去等工事4件の申請希望者があった。			建物所有者のアスベスト対策では、対策費用の高額化、工事中の建物使用の一部制限等やアスベストによる健康被害の認識が薄く実行性が上がらない状況である。健康被害に対する意識向上の啓もうを図る必要がある。				
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
・広報さっぽろに事業案内の掲載、建設業団体等にパンフレットの送付や環境局主催のアスベストセミナーで補助事業の紹介をしたほか、建物所有者にダイレクトメールを送付し、アスベストの危険性や事業の活用についてPRを行った。21年度以降についても様々な機会を捉えて広報活動を行い、事業の周知、建物所有者の意識向上を図る。 ・本事業は22年度までの予定であるが、事業量の進捗状況を勘案し事業の継続について検討を行う。							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-3-2		事業名	民間建築物吹付けアスベスト対策事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	10,600	10,600	10,600	31,800	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	5,300	5,300	5,300	15,900	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	0	5,300	5,300	5,300	15,900		
予算	事業費	0	1,230	5,665	-	6,895	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	615	3,332		3,947	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	0	615	2,333		2,948		
実績	事業費	0	30	-	-	30	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	15			15	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	0	15			15		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				17.9%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 当初計画としては、20年度からの3年間で分析調査30件、除去等工事24件としていたが、それぞれ20年度、21年度の件数が減少したため、現時点の22年度末予定は分析調査18件、除去等工事12件としている。							
[19年度]							
[20年度] 20年度分の予算要望にあたり、19年8月より建物所有者に対し、事前相談を行ってきたが、周知期間が短かったこともあり、分析調査10件、除去等工事8件に対し、分析調査1件となった。							
[21年度] 21年度分の予算要望にあたり、建物所有者に対し、事前相談を行ってきたが、分析調査10件、除却等工事8件に対し、分析調査7件、除却等工事4件となった。							